

事業所における自己評価結果(公表)

公表日 2024年3月4日 討議日 2024年2月26日 事業所名 オナリ(児童発達支援・放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらか いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1			・現状の空間や場所を活用できるよう、改善を図る。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2		・昨年度比「はい」43%→71% へ。適切な配置を随時検討している。	・人員配置の検討と併せて、職員の資質向上も目指す必要がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1			・今後も、利用者が利用しやすい環境の工夫を目指す。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1		・毎日、出勤時に全員で清掃と整理整頓に努めている。	・衛生面、感染症対策の面に配慮して清掃、整理整頓等を行っていく。 ・子どもの活動が制限されないような空間づくり、場の設定をする。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1			・職員の意見が出しやすく、反映できる環境作りと機会を増やす。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2			・事業所評価と毎日の職員間の情報共有、毎日の送迎時の保護者とのやり取りから、業務改善の内容を検討するようになる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1			・事業所評価の結果については、ホームページ上での公開とし、希望されるご家族には書面での公開をする。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	1		・第三者評価としては実施していないが、第三者委員との連携を図り、参画の仕方も検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・職員全員が参加できる研修の内容の充実に努めている。 ・外部の研修への参加も要望に応じて検討していく。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6	1			・職員間でアセスメント(行動観察)を行っている。今後は、発達支援の5領域の視点から、職員が客観的に分析できるよう、個別の支援計画の作成と事例検討の機会を設ける。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		1		・標準化されたアセスメントは内部では実施していない。今後は、発達支援の5領域の視点から、職員が客観的に分析できるようにしていく。
	12	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」及び放課後等デイサービスガイドラインの「基本活動」から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	1			・今後は、発達支援の5領域の視点から、支援内容を明確にして、個別支援計画を作成する。
	13	個別支援計画に沿った支援が行われているか	6	1			・発達支援の5領域の視点から、支援内容を明確にするとともに、具体性ももたせ、個々の事例に対応する。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1			・活動プログラムの立案を複数の職員間でできるようにする。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2			・活動プログラムの立案を、以前の活動の反省を生かしながら、複数の職員間で検討する。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	6	1			・ほとんどの利用者にコミュニケーション面での課題がある。このことを踏まえ、場の設定を検討する。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		・打ち合わせを毎日行う。長期休暇中は、打ち合わせ時間の工面に苦慮している。	・児童発達支援、放課後等デイサービスともに職員が意見を出し合えるようにする。 ・支援前に内容や役割分担を確認できる時間を確保する。 ・長期休暇中の打ち合わせ時間の確保を検討する。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				
20	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7					
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7					
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		1		・どのような連携が必要か検討する。	

関係機関や保護者との連携	23	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5		2	・職員間で確認を行い、未然にトラブルを防ぐ努力をする。複数の職員で協力して行うことで伝達し合える環境づくりに努める。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		2	・状況に応じて相互理解を図っていく。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		2	・状況に応じて相互理解を図っていく。
	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	2	・就学前の状況については、必要に応じて情報収集に努める。
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	1	・該当利用者がいない。 ・移行支援の実績はない。今後、必要な利用者があることが想定される場合は、その時期を逃さぬよう、積極的に情報収集と情報提供に努める。
	28	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	2	・今年度は昨年度よりも地域での研修に参加できた。今後も積極的に職員の自発的な参加を推進する。 ・研修会への積極的な参加を推進するとともに、伝達の機会を設ける。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、放課後児童クラブ、児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	2	・利用者は普段幼稚園・保育園や小学校等で交流する機会があるので、計画していない。
	30	(地域自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	1	2	・可能な職員の参加を推進した。 ・今年度も、子ども部会には積極的に参加し、情報提供を行う。
	31	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		・保護者のお迎え時、当日の様子を分かりやすく伝えるよう努める。
	32	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3		・適宜相談支援を継続していく。未就学の利用者では、母子療育を行う場合もあり、療育しながら、家庭での情報共有を行うようにしている。また、面談等で聞き取りを行う。
保護者への説明責任等	33	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		・「施設運営システム」を導入した。今後も職員の積極的な運営を図る。 ・職員には内容を把握してもらうよう、説明に努める。
	34	個別支援計画の内容の説明を行い、保護者から計画の同意を得ているか	7			
	35	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		・保護者のお迎え時や活動の様子を職員間で共有し、どの職員も保護者と話や説明ができるようにしていく。
	36	父母の会の活動支援や、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2		・実施が可能か、必要性と併せて検討していく。
	37	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		・保護者への相談の申し出に対する対応は聞き取りを行い、職員間での伝達をして、その必要性や伝え方に関する対応を協議するよう努める。
	38	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	39	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			
	40	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		・連絡帳や保護者お迎え時、当日の様子を伝えるようにしている。できるだけ連絡帳のやり取りの協力を保護者へお願いして、記述内容や話した内容を伝達し合う。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2		・今後必要性を検討していく。
	42	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		・保護者全員への周知が難しかった。今後は面談時の伝達を心掛ける。 ・今後も内容の周知を図りながら、職員間や保護者へ伝達する機会を作るよう努める。
非常時等の対応	43	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6	1		・服薬開始や終了、服薬量の増減の確認を適宜聞き取る。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		・アクシデント・インシデントレポートの積極的な提出と活用を推進する。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5	2		・現在、身体拘束を行うべき利用者はいないが、今後検討する場合は、事業所の指針に基づき、保護者への説明と同意を得て行うようにする。